

○ 環境方針

タカラレーベングループ環境方針

タカラレーベングループは、「幸せを考える。幸せをつくる。」の企業ビジョンのもと、「すべての人が安心して暮らせる街づくり」への貢献を目指しています。明日の幸せについて誰よりも前向きに考え、地球にやさしい持続的な環境づくりを提案します。

1. 環境に配慮した建物と空間の提供

環境性能の向上と環境負荷の低減に努めるとともに、環境に配慮した技術や発想を積極的に商品・サービスに取り入れ、地球温暖化への対応と循環型の街づくりに貢献します。

2. 気候変動への対応

エネルギーの効率的な利用、再生可能エネルギー発電施設の開発・運営および再生可能エネルギーの活用を通じ、温室効果ガス排出量の削減、気候変動問題の緩和に貢献します。

3. 生物多様性の維持・保全

事業活動の全てにおいて、周辺の生態系・生物多様性等に影響を与えるリスクを鑑み、適切なリスク管理を行うとともに、地域における自然的・社会的条件に応じた環境保全へ配慮し、生物多様性への影響の低減と保全に努めます。

4. 資源循環の推進

水環境の保全、廃棄物の削減に取り組みます。3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進等を通じて、環境負荷の低減に努めるとともに、循環型社会の形成に寄与します。

5. 環境関連法規の遵守と環境教育

環境に関する法令・規制等を遵守するとともに、環境についての教育・啓発活動を通じて、従業員の環境意識の向上を図ります。

6. 環境マネジメントの確立

環境目標の設定、定期的な見直しを行い、適切な環境マネジメントを推進します。

○ 気候変動への取り組み

■ 気候関連課題に関するタカラレーベンの認識

当社では、気候変動ならびに気候関連課題への当事業のレジリエンスを次のように認識しています。

パリ協定、IPCC特別報告書、IPCC第6次評価報告書などにおいて示されるように、気候変動の進行は科学的事実です。気候変動の進行は自然環境と社会構造に劇的な変化をもたらし、当社の経営とビジネス全体に重大な影響を与える課題であると認識しています。

気候変動の進行により、台風・豪雨の激甚化、熱波や干ばつの頻発、世界的な海面上昇の進行などの気象・気候災害の発生、拡大が予想され、これは当社の事業に重大な影響を及ぼす可能性があります。

気候変動を緩和するための全世界的な取り組みとして、温室効果ガスの排出削減に向けた枠組みの設定や排出規制の強化など、社会経済の脱炭素化への移行が予期され、この変化は当社の事業に重大な影響を与える可能性があります。

気候変動問題は金融におけるシステミック・リスクであるという認識により、気候関連のリスク・機会に関する情報の開示が投資家など多くのステークホルダーから求められています。特に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に沿った、気候関連リスクの開示の推進を通じた透明性の向上は当社にとって重大な課題であると認識しています。

気候変動がもたらすリスク・機会について識別・評価・管理を行い、事業のレジリエンスを高めることは、当社の持続可能かつ安定的な収益を長期的に確保するためにも必要不可欠な事項です。

■ ガバナンス

気候関連のリスクと機会に対応するために以下のガバナンス体制を構築しています。

気候関連課題に係る最高責任者を代表取締役社長とし、執行責任者をサステナビリティ担当取締役としています。

執行責任者は、サステナビリティ委員会において、気候変動による影響の識別・評価、リスクと機会の管理、適応と緩和に係る取り組みの進捗状況、指標と目標の設定等の気候変動対応に関する事項を、最高責任者に対して、定期的に報告しています。サステナビリティ委員会の出席者により、各議題について審議・検討した上で、最高責任者により意思決定を行います。

■ 戦略

当社は、気候関連のリスクと機会が経営活動、戦略、財務計画に与える影響を識別・評価・管理するためのプロセスを定め、これを適切に運用します。

気候関連リスク・機会の識別・評価にあたっては科学的・学術的知見を活用し、体系的かつ客観的に行うことを目指します。

■ リスクと機会の管理

当社は、識別された気候関連のリスク・機会を管理し、レジリエンスを高める取り組みを推進することにより、事業上のリスクの低減と価値創出の機会を実現し、持続可能かつ安定的な収益を長期的に確保することを目指します。

■ 指標と目標

当社は、気候関連リスク・機会を管理するための指標と目標を設定し、運用戦略と総合的リスク管理と整合した指標を設定します。

当社はTCFD提言に賛同し、ガイドラインの要請事項に沿った気候関連情報の開示を行います。

■ 改廃と見直し

本ポリシーおよびその内容の改廃はサステナビリティ委員会の承認を得ています。

サステナビリティ委員会は、年に1回以上、本ポリシーの内容が当社の気候関連の課題へのアプローチとして適切かどうかについて見直しを行っています。

○ 環境データ

当社グループのScope1およびScope2の温室効果ガス（CO₂）排出量、エネルギー使用量は以下のとおりです。

■ 温室効果ガス（CO₂）排出量

単位：t-CO₂

カテゴリー	2020年度	2021年度	備考
Scope1	374	378	都市ガス・LPガス・灯油・ガソリンの燃焼
Scope2	1,585	1,646	電気・冷水の使用
合計	1,959	2,023	

※ 環境データの算定対象範囲は、タカラレーベングループ(連結11社)です。

※ 対象期間は2020年度及び2021年度(2020年4月1日～2022年3月31日)です。

※ 2021年度の値に関しては、暫定値で、数値が変動する可能性があります。

※ 当社グループではCO₂以外の温室効果ガス(フロンガス等)は極めて微量のため除外し、CO₂のみを算定・報告しています。

■ エネルギー使用量

単位：原油換算kL

	2020年度	2021年度
電気	915.2	985.9
都市ガス	3.2	0.5
LPガス	0.0	0.4
ガソリン	140.8	144.4
灯油	0.7	0.3
冷水	1.2	0.4
合計	1,061.1	1,131.9

※ エネルギーデータの算定対象範囲・対象期間は、CO₂算定と同様条件です。

※ 2021年度の値に関しては、暫定値で、数値が変動する可能性があります。

※ 原油換算は、電気やガスなど異なるエネルギーの大小を比べる物差しです。

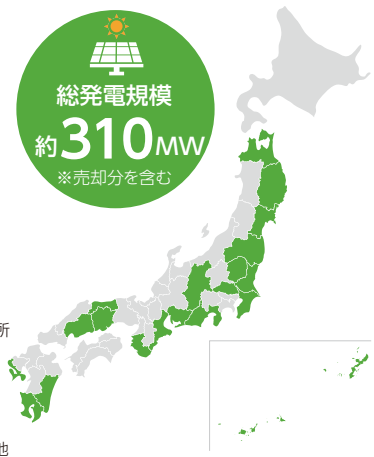
再生可能エネルギー

○ エネルギー事業

タカラレーベングループは、温室効果ガスであるCO₂排出量の削減に貢献する再生可能エネルギーを活用したエネルギー事業を推進しています。遊休地などにメガソーラー発電所を開発し、大規模な太陽光発電を行っています。このエネルギー事業に参入した2013年以降、関東エリアを中心に数多くのメガソーラー発電所の開発を手掛け、2022年3月末時点で、総発電規模は約310MWとなりました。2021年11月には当社初となる風力発電所「レーベンウィンドプラント長崎対馬発電所」を取得しました。

■ 再生可能エネルギー発電所一覧

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 東北
青森県
●LS青森平内発電所
宮城県
●LS宮城大郷発電所
●LS宮城仙台A・B発電所
●LS宮城大郷2発電所
●LS宮城県大衡村発電所
●LS宮城松島発電所
福島県
●LS福島矢祭発電所
●LS福島鏡石1・2発電所
●LS福島田村発電所
岩手県
●LS岩手洋野発電所
●LS岩手八幡平発電所 | 関東甲信越
茨城県
●LS古河女沼発電所
●LS利根A・B・C発電所
●LS筑西発電所
●LSつくば房内発電所
●LS美浦発電所
●LS水戸高田発電所
群馬県
●LS利根布川発電所
●LS桜川3発電所
●LS神栖波崎発電所
●LS鉢田発電所
●LS桜川2発電所
●LS稲敷荒沼1発電所
●LS桜川中泉発電所
●LS桜川4発電所
●LS桜川下泉発電所
●LS桜川1発電所
●LS稲敷荒沼2発電所
●LS高萩発電所
●LS茨城かすみがうら発電所
●LS桜川真壁発電所
栃木県
●LS塩谷発電所
●LS那須那珂川発電所
●LS藤岡A発電所
●LS藤岡B発電所
●LS塩谷2発電所
長野県
●LS長野塩尻発電所 | 首都圏
埼玉県
●LS飯能美杉台発電所
千葉県
●LS千葉若葉区発電所
●LS匝瑳発電所
●LS千葉山武東・西発電所
●LS千葉成田発電所
●LS千葉勝浦発電所
静岡県
●LS静岡御前崎発電所
愛知県
●LS愛知豊橋発電所
三重県
●LS三重四日市発電所
近畿
和歌山県
●LS白浜発電所 | 中国
広島県
●LS広島三原発電所
鳥取県
●LS鳥取大山発電所
岡山県
●LS岡山津山発電所
九州沖縄
長崎県
●LS長崎諫早発電所
●LS長崎佐世保発電所
●LWP長崎対馬発電所
鹿児島県
●LS霧島国分発電所
●LS霧島鹿屋発電所
●LS霧島国分2発電所
●LS鹿児島種子島発電所
宮崎県
●LS宮崎都城発電所
沖縄県
●LS宮古島城辺発電所
他 |
|---|--|---|--|



▶ グループ実績

○ バイオマス発電

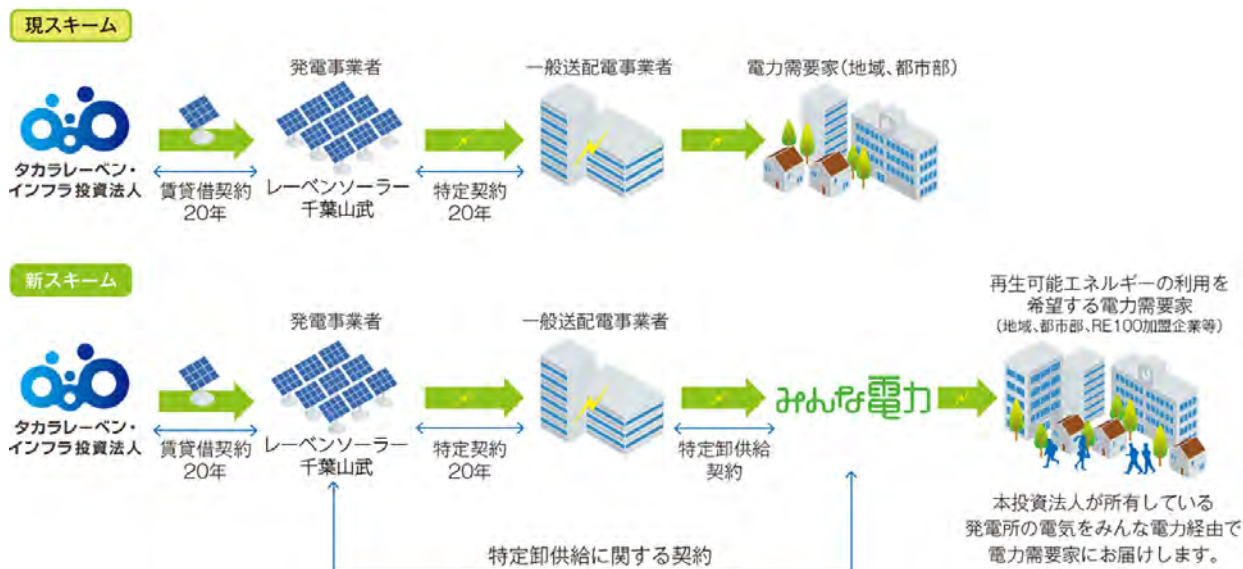
タカラレーベンは2021年、当社初となるバイオマス発電事業に参入しました。2022年度の売電開始に向けて試験稼働中の「富士山朝霧バイオマス発電所」（静岡県富士宮市）では、富士開拓農業協同組合の会員から収集した牛ふんを利用したバイオマス発電を行っています。牛ふんを発酵処理して生成したバイオガスを燃焼させて発電する同発電所の方式は、木くずや可燃ごみを直接燃焼させて発電する方式に比べてCO₂の排出量を抑えて発電を行うことが可能です。さらにバイオガスとともに生成した液体肥料は、富士山朝霧バイオマス液体肥料として多方面へ販売を開始する予定です。

本事業は太陽光発電事業に次ぐ再生可能エネルギーを活用した発電事業であり、また、廃棄物を有効活用し牛ふんの処理問題を解決しながらクリーンエネルギーを供給する地域循環型共生圏を構築する取り組みです。



○ LS千葉山武東・西発電所、みんな電力（株）との特定卸供給契約

タカラレーベン・インフラ投資法人は2021年9月、LS千葉山武東・西発電所において、みんな電力株式会社（現・株式会社UPDATER）と特定卸供給契約を締結しました。みんな電力は電気をつくる人と使う人を再生可能エネルギーでつなげるサービスを展開しています。LS千葉山武東・西発電所でつくった電気を、みんな電力を介して環境負荷の少ないエネルギーを選ぶ家庭や環境に配慮した経営を実践する企業へと供給することにより、脱炭素化社会の推進や再生可能エネルギーの普及を目指します。



○ CO₂排出量削減に向けた取り組み

タカラレーベン・インフラ投資法人は、再生可能エネルギー発電設備等への投資を通して、地球にやさしい持続的な環境づくりを目指しています。年間、約77,328トン程度※のCO₂排出量削減に寄与しています。

※ 発電所のパネル出力を基準とした、化石燃料火力発電所対比によるCO₂年間削減量。



○ タカラレーベンサステナビリティファンド

タカラレーベンは、地球環境へ貢献する取り組みのさらなる推進に向けて、新しい資金調達手段の運用を開始しています。2021年1月に合同会社レーベンファンディングを設立、ファンズ株式会社との連携でこれまでに「タカラレーベンサステナビリティファンド#1~3」を公開し、幅広い投資家の皆さまから貸付投資を募るクラウドファンディングを実施しました。集めた資金は、再生可能エネルギー事業の事業資金やサステナビリティ（CSR）活動における活動資金として活用されます。



環境に配慮した製品・サービスの提供

○ ZEHマンション「レーベン長野中御所 THE PEERLESS」

「レーベン長野中御所 THE PEERLESS」（長野県）では、「IoTを活用した電力使用ピークの抑制」「専有部オール電化一括受電による省エネ」「CO₂フリーの電気の供給」といった取り組みにより、従来にない環境価値を備えたZEHマンション※を提案しています。当社の物件および長野県内のマンションとして初めて、環境省が提示する新築集合住宅・既存住宅における省CO₂化促進事業「ZEH-M Oriented」の認証を取得しています。

※ 断熱性能の向上や高効率な設備・システムの導入により、快適な室内環境を維持しつつ省エネを実現し年間の一次エネルギー消費量の収支「ゼロ」を目指したマンション。



○ ISO14001認証取得

レーベンホームビルドでは、環境問題への積極的な取り組みが経営上の重要課題であると考え、2008年に環境マネジメントシステムに関する国際規格「ISO14001」の認証を取得しました。

当社におけるISOの運用は「マネジメントマニュアル」に沿って行われ、年に1回、外部機関による運用管理確認が行われています。2021年度は5月に外部機関による実地監査が行われ、現状の認可を更新しました。



レーベンホームビルドの取り組み内容

- 建築現場でのゴミを分別し、リサイクルを促進する
- 事業所単位での排出ゴミの分別と減量を行う
- 社有車の環境配慮型・小型化への促進を行う
- 省エネルギー化に向けた、企画・設計・提案を採用する

○ 東北・みやぎオンライン復興マラソン2021

タカラレーベンが2019年度から協賛する「東北・みやぎ復興マラソン」は、東日本大震災被災地の復興への想いを抱くランナーが集まる東北最大級のマラソン大会です。2020年度からは、新型コロナウイルスの感染拡大によって人が集まらない状況でも実施可能な「東北・みやぎオンライン復興マラソン」として開催されています。参加ランナーは、GPSトレーニングアプリをスマートフォンにダウンロードし、岩手・宮城・福島から好きなコースを選んで大会期間内に目標距離の完走を目指します。ランナー全員の走行距離の累計に応じて、各被災エリアの復興支援団体に寄付が行われる仕組みになっており、タカラレーベングループからも23名の従業員が参加しました。



○ 鎮守の森のプロジェクトへの寄付

東日本大震災では、深く根をはった木々が津波の勢いを和らげ、関東大震災や阪神大震災では、大火を食い止める防災林が重要な役割を果たしました。かけがえのない日本の森林の象徴の一つが、神社を囲むように存在した「鎮守の森」です。タカラレーベン東北は、動植物の命を育み、田畑や海、川にミネラルをもたらし、地域と暮らしを守る「鎮守の森」をモデルとした森をできるだけ多くつくって災害の多い日本を支えていこうという「鎮守の森プロジェクト」に賛同し、寄付を実施しています。



○ ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムへの寄付

タカラレーベン東北は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成や東北エリアの活性化に資する取り組みとして、ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムへの寄付を行っています。一般社団法人全国食支援活動協力が進めるこの活動は、全国の子ども食堂等の居場所に集う子どもや高齢者等、すべての人が食事を得られる環境づくりを目指しています。全国37ヵ所のロジ拠点（食品の冷凍・冷蔵設備を持つ場所・倉庫、寄付食品のマッチングコーディネートを行う）、76ヵ所のハブ拠点（活動団体が食品を取りに行くランチ）を経由して、様々な団体や自治体から寄贈された食品を約1,800ヵ所の居場所、子ども支援団体に届ける仕組みを構築しています。



○ 医療従事者応援私募債の発行について

タカラレーベン東北は2021年9月、新型コロナウイルス感染症対策に日々尽力されている医療従事者の方々に応援する「医療従事者応援私募債」を発行しました。同債券は、発行に際して株式会社秋田銀行が受け取る手数料の一部（発行額の0.2%）が新型コロナウイルス感染症対策に取り組む医療関連機関に寄付される商品となっています。2021年11月には、医療法人明和会 中通総合病院（秋田県）へ寄付金の贈呈を行いました。

○ グッドネーバース・ジャパンへの寄付

グッドネーバース・ジャパンは、ビジョンを「子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会」、ミッションを「国内外のパートナーと共に、貧困及び差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く」と掲げて国内外で活動するNPO法人です。

国内では、子どもの貧困対策事業として、ひとり親世帯へ定期的に食品配付を行う「グッドごはん」の運営等に取り組んでいます。タカラレーベン・インフラ投資法人及び、その資産運用を委託する管理会社タカラアセットマネジメント株式会社は、グッドネーバース・ジャパンの活動に賛同し、寄付を実施しています。

○ NPO法人カタリバへの寄付

タカラレーベン・インフラ投資法人及び、その資産運用を委託する管理会社タカラアセットマネジメント株式会社は、東京都の認証を受けた認定NPO法人カタリバへの寄付を行っています。同NPO法人は、被災や貧困等の理由により、勉強する機会を奪われた日本国内の子どもたちへの教育支援を展開しています。寄付金は、無料の放課後教室での居場所作りや学習支援、食事支援といった活動に役立てられます。

○ TABLE FOR TWO

国際的な食の格差問題の解消を目指すNPO法人「TABLE FOR TWO International」に継続的に寄付を行っています。2018年11月から、ダイバーシティ推進の一環として運営する障がい者が働く農園「レーベンヴィレッジ」で収穫した野菜を社内の希望者に配布する際に、1袋につき50円を募金しています。2021年度の活動分として、2021年10月に5,400円、2022年4月に13,270円を寄付しました。

T TABLE FOR TWO



○ 「日本子ども支援協会」への入会と寄付

タカラアセットマネジメントと、同社が資産運用を受託するタカラレーベン・インフラ投資法人は、特定非営利活動法人「日本子ども支援協会」への入会と寄付を行いました。「子どもの貧困と暴力の連鎖」を永続的に解決することを使命として、子どもが安心して暮らせるための里親支援や子育て支援などに取り組む同協会に対するサポートは、「持続可能な開発目標（SDGs）」にもつながる活動です。



○ タカラレーベングループの清掃活動

タカラレーベングループでは、不動産を通じ、地域社会の発展に貢献する企業を目指す取り組みとして、各社が社会貢献活動に取り組んでいます。

タカラレーベン東北では、暮らしの舞台となる街を少しでも美しくするために、本社前の青葉通やマンションの建設現場周辺の定期的な清掃を行っています。

また、タカラレーベン西日本は、松山市が推進している清掃活動「プチ美化運動」に参加企業として登録しており、美しいまちづくり推進のため、松山だけでなく福岡でも定期的に清掃活動に励んでいます。

同様に、レーベンホームビルドでも各事業所周辺の定期的な清掃を行っています。



スポーツ・文化への協賛

○ 日テレ・東京ヴェルディベレーザ

タカラレーベンは、2021年2月に日本をリードする女子サッカーチーム「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」とコーポレートパートナー契約を締結し、スポーツが持つ感動や喜びの体験を発信しています。

11月に日本初の女子プロサッカーリーグWEリーグの第10節大宮アルディージャVENTUS戦で冠試合「タカラレーベンDAY」を実施しました。当日は、来場者にノベルティを配布し、当社ロゴ看板の掲出でタカラレーベンをアピールするとともに、創業の地である東京都板橋区の小学生を招待し、プロが試合を行う憧れのピッチでサッカーを楽しむ「タカラレーベnpresents 板橋区サッカーフェスタ」を開催しました。



○ えひめSDGs甲子園

タカラレーベングループは、創業50周年記念企画として未来を担う高校生の皆さんにSDGsへの意識を高めてもらうイベントを実施しています。株式会社タカラレーベン、株式会社タカラレーベン西日本、株式会社レーベンコミュニティは、3社合同で2022年3月より「えひめSDGs甲子園～高校生SDGs実践プロジェクト～」(主催者・NPO法人地域教育サポートの会)に特別協賛しています。同プロジェクトでは、SDGsに関心を持つ高校生の皆さん12チーム(82名)が、貧困問題、気候変動、ジェンダー平等といったSDGsの基礎知識を学んだ後、地域の課題や生活環境からテーマを決めて活動し、チームごとにまとめた意見をプレゼンテーションします。そして、参加した高校生たちも審査員の一員となり互いの活動成果を評価して、グランプリを選出します。



○ 環境フォト・コンテスト

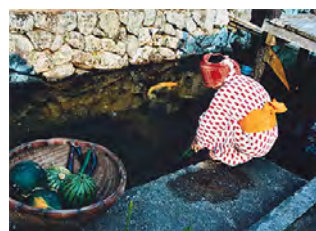
タカラレーベンは、企業が設定した募集テーマを基に市民が写真を撮影し、企業と市民の共同作業で環境への想いや決意を表現する「第28回環境フォト・コンテスト2022」（主催・プレジデント社／後援・環境省、環境文明研究所）に参加しました。「幸せ」をキーワードに社会課題の解決に取り組む企業姿勢に基づいて、「水と暮らしの幸せ」をテーマに募集したタカラレーベン賞には、多くの応募がありました。厳正な審査を経て、井戸からくみ上げた水と子供たちの楽しそうな表情が印象的な作品「初めての手押しポンプ」に優秀賞を贈りました。



優秀賞「初めての手押しポンプ」



佳作「花より水遊び」



佳作「野菜洗い」

> [環境フォト・コンテスト2022](#)

○ grape Award 2021

ニッポン放送グループのWEBメディア「grape（グレイブ）」が主催する「grape Award」は、心に響くエッセイを募集するコンテストです。2021年は『身の周りであった心温まるエピソード』や、『心が癒されるような体験談』をテーマに作品が募集され、13歳から85歳までの幅広い年齢層から、376本の作品が届けられました。タカラレーベンは、「grape Award」に4年連続で特別協賛し、企業ビジョン「幸せを考える。幸せをつくる。」に相応しい、特に「幸せ」が感じられる作品に「タカラレーベン賞」を贈っています。

『心に響く』エッセイコンテスト

grape AWARD grape Award 2021

Takara Leben **タカラレーベン賞**
応募作品の中から「幸せ」を
感じる作品に贈られます。

特別協賛：株式会社タカラレーベン / 主催：株式会社グレイブ

> [grape Award 2021](#)

○ MOMAT支援サークル

日本における美術の中心的な拠点である東京国立近代美術館では、企業と美術館がパートナーとなって作り上げる新しい美術館支援のシステムとしてMOMAT支援サークル（MOMAT Corporate Partnership）を推進しています。

タカラレーベンは、2021年7月よりMOMAT支援サークルのパートナー企業となり、文化的な価値の高い美術作品を通じて国民の皆さんに幸せな時間を提供する東京国立近代美術館の活動（展覧会の開催、調査研究、作品の収集と保管、教育普及活動、美術館運営事業など）を支援しています。また、この取り組みを通して文化の醸成への貢献とともに従業員に対する優れた美術作品に触れる機会の提供も目指しています。



○ タカラレーベン東北における文化伝承の取り組み

当社グループは、地域の文化遺産を守りながら、未来に向けた街づくりを進めています。タカラレーベン東北が、宮城県仙台市の青葉城に近い武家屋敷跡の土地で開発した「THE LEBEN 仙台大手町」の建設工事では、発掘調査により見つかった江戸～明治期の遺構や瓦、陶磁器などの遺物を市の当局に寄贈しました。また、外観デザインには仙台藩の初代藩主でもある伊達政宗が好んだ「懸造り」という建築様式を採用し、その土地の歴史的な背景も捉えたデザインを残すことで地域の歴史や文化の伝承にも取り組んでいます。



○ プロスポーツチーム協賛を通じた地域の活性化

タカラレーベン東北は、仙台をホームに活躍する3つのプロスポーツチーム（Jリーグの「ベガルタ仙台」、プロ野球の「東北楽天ゴールデンイーグルス」、Bリーグの「仙台 89ERS」）をオフィシャルスポンサーとして応援しています。各チームへの協賛を通じて、地域のスポーツ振興、地域活性化に取り組み、今後も地域社会の幸せや発展に貢献していきます。

